



2016年度 木材調達評価

① WWF ジャパン チェックリスト評価

評価の確認手段としてWWFジャパンのチェックリストを使用しています。➡ [WWFジャパン チェックリストへのリンク](#)

自己評価

※調査対象は、ミサワホームの木材調達指針と同じく、木質系工業化住宅の構造体のみです。

※年間木材使用量：155,945㎡/年、年間使用原木量：311,891㎡/年

チェックリスト評価の樹種別評価において、レベルが安定していることでも、木材仕入先企業の森林認証材使用の認識が定着してきました。これからも取引先との連絡会や情報交換などの連携を取りながら、次期目標に取り組んでいきます。

分類	樹種	国名	使用比率(%)	チェックリスト評価	
				(樹種別) 得点	個別評価
合板	ダグラスファー	カナダ	15.25	70.2	B
	カラマツ	ロシア	11.12	59.2	C
		日本	1.07	59.0	C
	ケルーイング	インドネシア	1.34	100	S
	メランティ	マレーシア	0.87	62.4	B
	スギ	日本	0.39	77.9	B
	ヒノキ	日本	0.31	76.9	B
合計			30.35	67.0	B
芯材・構造用集成材	スプルース	フィンランド	30.20	74.3	B
	ホワイトウッド	フィンランド	13.27	65.9	B
		ドイツ	2.71	71.0	B
		スウェーデン	1.59	66.4	B
		ルーマニア	0.03	61.9	B
	トドマツ	日本	10.66	62.2	B
バイヒバ	カナダ	0.30	62.3	B	
合計			58.76	69.8	B
LVL (単板積層材)	ポプラ	中国	5.95	54.9	C
	ラーチ	ロシア	2.24	53.4	C
	スギ	日本	1.36	27.0	D
	カラマツ	日本	0.19	24.3	D
合計			9.74	50.1	C
工場調達材	ホワイトウッド	スウェーデン	0.84	71.0	B
		フィンランド	0.33	62.3	B
合計			1.17	68.6	B
総合計			100	65.7	B

② WWF ジャパンのコメント

ミサワホームの木材調達に関する2016年度評価は、WWFジャパンの「森と人をつなげる“チェックリスト”」による評価で65.7点(B評価)となりました。

これは、2015年度評価と偶然にも全く同じ得点となりましたが、評価(得点)が概ね収れんしつつあることを示しているかもしれません。取り組みが成熟してきたこのタイミングは、改めて次期目標での重点項目を検討する好機ともいえます。例えば現在の樹種別評価でC評価やD評価である木材も、仕入先企業の協力を得てより詳細に調べる手続きを構築できれば評価レベルが上がる可能性もあります。また引き続き森林認証材へと切り替えることも評価を上げることにつながるでしょう。

これまでの実績を維持することに加え、ミサワホームの木材調達ガイドラインが目指す生物多様性の保全を達成するための更なる取り組みを期待しています。

WWFジャパン 自然保護室森林グループ長 橋本 務太(はしもと むたい)